

療育プログラム

1) 健康・生活

- ・ 意思表示が困難である子どもたちの発達の過程、特性を配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう支援をします。
- ・ 排せつ・着替えなど、基本的な生活リズムを身に着け、安全な生活を子ども自身で送れるよう練習を重ねます。

2) 運動・感覚

- ・ 身体を動かすことで、脳を刺激し五感に働きかけます
- ・ 音楽に合わせて楽しく運動して元気に活動
- ・ リズム運動を通して想像力と表現力を発達させます
- ・ 太鼓などの楽器に触れることで力強さや優しさや楽しさを身体で感じます
- ・ 本の音読み聞かせで姿勢を整え集中して聞く

3) 人間関係・社会性

- ・ 気持ちいい挨拶、整理整頓、身だしなみなどの知識と実践
- ・ 買い物や電話など、日々の生活に必要な判断と受け答えをロールプレイング
- ・ メモを取る、スケジュールを管理するなどの大切な習慣づけ
- ・ おやつ作りを通して、食器の準備や具材の準備、お手伝い、さらに実習を通して自宅での生活に役立つクッキング実習

4) 言語・コミュニケーション

- ・ 日々の生活を送っていく上で、身の回りのことを自立して行えるよう、また日常の様々な場面で、適切な言動ができるようトレーニングしていきます
- ・ ひとつひとつステップアップし、きちんとわかることで学ぶ楽しさを感じます
- ・ 豊かな言葉で読む、書くトレーニング
- ・ 自立した生活に必要な計算力、パソコン・ITのスキルを身につけます

5) 認知・行動

- ・ 表現することの喜び、粘土やスライムで度作ることの楽しさが、創造力や集中力を育みます
- ・ 自分の思いや考えを、作品を作ることで表現し、一人一人の可能性を広げます

7)自由時間

個々に宿題や読書など、自分でやることを決め自立心を育てます。

8)生活

日々の生活を送っていく上で、身の回りのことを自立して行えるよう、また日常の様々な 場面で、適切な言動ができるようトレーニングしていきます

気持ちいい挨拶、整理整頓、身だしなみなどの知識と実践

買い物や電話など、日々の生活に必要な判断と受け答えをロールプレイング

メモを取る、スケジュールを管理するなどの大切な習慣づけ

療育内容

「発達のスピードは子どもそれぞれであるが、絶対成長する」と信じて繰り返し繰り返しトレーニングを行います。子供達が自立して生活していけるように、できることを広げるために「挨拶」「電話をとる」「身だしなみ」などのソーシャルスキルをはじめ、「友達と遊ぶことの楽しさ」「その楽しさを作るための関係づくり」を毎日の生活の中で伝えていきます。「できること」を一つ一つ積み上げていくと自分に自信が持てるようになります。子どもは、自分に自信が持てるようになると、他者とのコミュニケーション（報告、連絡、相談）が1歩ずつ進んでいきます。報連相ができるようになると、家族・友人から信頼されるようになります。そうすると生活が広がっていきます。その支援を日々行っていくことが私たちの役割です。

集団プログラム

1)身体運動

身体を動かすことで、脳を刺激し五感に働きかけます
楽しく運動して元気に活動
姿勢を整え集中して聞く
豊かな表情、豊かな身振り

2)音楽

音楽を流し想像力と表現力を発達させます
音楽に触れることで力強さや優しさや楽しさを身体で感じます

3)学習

漢字カード等のカルタをするなかで他の児童と一緒にゲームに参加することで
他者とのかかわりを学びます。



計算王ゲーム、簡単な計算をグループで声を出しながら誰が正解に早くたどり着くか競争。
他の人、他の児童がいても自分の意見が言えるかなあ？を練習していきます。



4)学習

おやつ作りを通して、食器の準備や具材の準備、お手伝い、さらに実習を通して自宅での生活に役立つクッキング実習

個別プログラム

5)造形・絵画

表現することの喜び、作ることの楽しさが、創造力や集中力を育みます
自分の思いや考えを、作品を作ることで表現し、一人一人の可能性を広げます

6)学習

自立した生活に必要な計算力

同じ形をゴムで作って行く

日本地図のパズルを埋めて行く等

